富士市教育委員会会議１２月	定　例　会 臨　時　会	会　議　録 （令和４年）

開催日	会議場
令和４年１２月２０日　火曜日 開　会　　１３時３０分 閉　会　　１４時３３分	富士市役所　庁舎６階 第一、二会議室

出席委員の氏名

教　育　長	森　田　嘉　幸	委　　員	松　田　靖　子
教育長職務代理者	和久田　惠　子	委　　員	塩　谷　知　一
委　　員	篠　原　　均		

出席職員等の氏名

教育次長	江　村　輝　彦	教育研修・特別支援教育センター所長	川　崎　里　恵
教育総務課長	味　岡　俊　雄	青少年相談センター所長	川　口　壽　彦
学校教育課長	齋　藤　文　徳	博物館長	植　松　良　夫
学務課長	榎　　俊　英	教育総務課調整主幹	小長谷　　聡
社会教育課長	吉　田　和　洋	教育総務課参事補	吉　村　直　也
文化財課	久保田　伸　彦	教育総務課主幹	遠　藤　綱　輝
中央図書館長	大　川　英　子	教育総務課指導主事	米　田　一　也
富士市立高校事務長	青　木　　洋	教育総務課指導主事	山　田　英　雄
		傍聴人	なし

開会

会議録の承認

教育次長の報告要旨

教育次長	○小中学校の冬季休業について ・市内小中学校は、26 日（月曜日）から冬季休業に入る。 ・年末年始、特に交通事故に注意するよう各学校に伝えている。 ・家庭において、新型コロナウイルス感染症対策に加え、インフルエンザ等でも体調を崩しやすい時期になるので、注意するよう各学校に伝えている。 ○市議会 11 月定例会について ・市議会 11 月定例会が 12 月８日に閉会した。 ・教育委員会関係の一般質問は、２人の議員から３件の質問があった。答弁要旨は、本日配付した。

議題（動議）及び議事の大要

議第 49 号 （説明） (質問･意見等)	○令和５年度教育委員会所管当初予算について ・教育総務課長 →コロナ禍による収入減で、苦しい家庭が増えている。育英奨学金の

	予算が増加してはいるが、まだ足りないと思う。この予算の根拠を教えてほしい。
（回答）	→前年度からの継続となる新２、３年生に加え、奨学生選考委員会で新たに選考する奨学生の最大人数で予算を考えている。
(質問･意見等)	→奨学生選考委員会で選考する人数は昨年と同数か。
（回答）	→そうである。
(質問･意見等)	→選考する人数を増やすべきではないか。ガソリン等の値段が上がり家庭が苦しい中で、去年と同じ人数で足りるのか。
（回答）	→採用は選考基準に基づいて行っている。昨年度、要件の緩和を行った。それでも昨年度は採用人数の上限まで満たなかった。基準を満たせば上限まで採用する。
(質問･意見等)	→昨年は余裕があったということか。
（回答）	→そうである。ただし、他団体の奨学生への採用もあった。
(質問･意見等)	→会計年度任用職員が20名増えているが、この20人をどう配置したのか。
（回答）	→サポート員は毎年、人員を増やすようお願いしている。特別支援学級が毎年増えており、特別支援学級のサポート員や通常学級に付く特別支援教育サポート員という形で要求している。配慮を要する児童生徒の増加に伴いサポート員を増員し、手厚い支援ができるように要求をしていく。
(質問･意見等)	→部活動指導員を増員するように要求しているのか。
（回答）	→増員で要求している。
（議決）	→承認
議第 50 号	○令和５年度県費負担教職員の人事異動方針について
（説明）	・学校教育課長
(質問･意見等)	→夜間中学の記載があるが、これは県が新しく作る夜間中学への派遣ということか。
（回答）	→夜間中学は令和５年度から県内に２校、配置される。職員は、県費負担職員のため、職員の異動がありうることから記載した。
(質問･意見等)	→付け加えられたから、線が引いてあるということか。
（回答）	→下線部は昨年度の異動方針に付け加えた内容である。
(質問･意見等)	→管理職への登用についてどの部分が修正ないし追加変更されたか。
（回答）	→昨年度以上に年齢構成を意識して今年度進めると考えていただければと思う。
(質問･意見等)	→若手教職員の異動についての下線部は以前からあったと思うが、下線部が引かれている趣旨を教えてほしい。
（回答）	→学校教職員に周知が不十分な部分があり、意識してほしいと考え線

	を引いてある。
(質問･意見等)	→現状の管理職の男女比の割合と、今後の目標を教えて欲しい。
(回答)	→県の方針を意識して対応している。
(質問･意見等)	→デジタル化の推進において主要業務、あるいは伝達できる能力がある教職員の人数と、各校の配置状況を、教えてほしい。
(回答)	→各学校には情報担当主任がおり、一通りのICT活用ができる教職員は複数名配置している。ただ、全ての学校に均等に配置することは難しい。そのため、ICTの支援員やサポート員による各学校の巡回や、研修会を実施するなど対応している。
(質問･意見等)	→各校に、デジタル推進やICT推進の担当が設けられていて、そういう方が研修するのか、全教職員に対して研修をするのか。
(回答)	→市内全教職員に一斉に研修することは難しい。そのため、各学校の代表者を対象にICT研修を実施している。その方々が学校に戻り、校内研修の中で伝達をし、全職員の技量の向上を図っている。
(質問･意見等)	→日々、進歩する分野であるが、研修会の講師はどう選んでいるのか。
(回答)	→学校教育課の情報担当の指導主事が講師となる。又はICTサポート員に依頼することもある。場合によっては、県と提携している静岡大学や、全国的に著名な方に講師を依頼することがある。
(回答)	→先ほどの管理職について、校長は小学校が７人、中学校が１人、計８人である。市内小中学校43校のうちの８人であり、19%程度である。男女共同参画の時代に沿ったものにするように進めていきたいと、県も我々も考えている。
(質問･意見等)	→県費負担教員の異動の年数は、従来通りで変更はないのか。
(回答)	→近年、変更はない。
(質問･意見等)	→「適材適所の配置に努める」ために、「意欲、能力、適正、経験等」を参考にすることとなるが、どのように評価しているのか。
(回答)	→学校教育課と静東教育事務所が、１年間に市内の全小中学校を訪問する。その際、各校長から全教職員の持ち味や特徴について報告を受け、その情報を参考にしている。
(質問･意見等)	→異動後、新体制で新学期が始まった際、学校経営は滞りなく行うことができるのか。
(回答)	→教職員にとって「異動は研修」と言われており、異動したらその環境に順応することが教員の使命と考えられていた。しかし近年、異動先に適さないと早期に異動を希望する教職員が増え、難しさを感じている。
(質問･意見等)	→マッチングが適さないと、管理職には新しい業務が増えてしまい、マネジメントが今まで以上に大変になると思う。そのため、異動年数などの数値の検証を行っていただきたい。そのことが学校の教員

	の働き方改革等につながると思うので、大変だが頑張ってほしい。
（議決）	→承認
報第 12 号	○令和５年富士市はたちの記念式典の実施について
（説明）	・社会教育課長
(質問･意見等)	→配布物のデザインは富士市の名産がすごくきれいに表現されているが、どのように作成されたのか。
（回答）	→デザインは本市のシティプロモーション課職員に作成を依頼し、複数のデザインを候補とした。その中から市立高校の生徒に選考を依頼した。結果、富士市の特徴や誇れるものがたくさん詰まったデザインが選ばれ決定した。
(質問･意見等)	→今回、中ホールを利用しないようだが、人数は大丈夫か。
（回答）	→コロナ禍以前は式典を１回で実施していたため大ホールと中ホールを利用していた。昨年度と今年度は式典を２回実施するように変更したため、大ホールのみで収容が可能となった。昨年度、感染を心配する方のために中ホールも開放していたが、利用されたのは式典に間に合わなかった数名の方だったので、今年度は中ホールの使用は考えていない。ただ今後の状況に合わせて柔軟に対応していく。
（了承）	→了承
報第 13 号	○富士市教育委員会委員の就任について
（説明）	・教育総務課長
（了承）	→了承
各課等の報告・予定事項	
閉会	